

沖縄の『こころ』

戦争と平和の資料館
ピースあいち

— 追悼 大田昌秀 と 儀間比呂志 展

2018年
5月29日(火)～7月7日(土)

展示内容

協力：沖縄愛楽園自治会
立命館大学国際平和ミュージアム
沖縄タイムス社

〈パネル〉

沖縄の「こころ」を訴え続けた元沖縄県知事・大田昌秀さんの歩みをパネル（13枚）で紹介

〈儀間比呂志・版画作品〉

ハンセン病の妹とその兄を描いた絵本『ツルとタケン』の原画19点と沖縄への思いを描いた版画4点



ピースあいち開館1周年記念で講演する大田昌秀さん 2008年5月



儀間比呂志作 絵本『ツルとタケン』 2005年9月



版画「もうたくさんだ」
(部分) 1979年頃



版画
琉球古典舞踊 柳
1977年頃

【同時開催】「**辺野古写真展**」 辺野古・高江のたたかい～本土では見えない本当の姿
現地の人々が撮った写真を通して、辺野古・高江の風景、そして座り込み運動と、それに対する政権側の行為が
どんなものか、その「ほんとうの姿」を改めて見つめます。（2階ブチギャラリー）



市バス・地下鉄でのお出かけが便利でお得です！

ドニチエコきっぷ・一日乗車券

を利用してご来館の方は、割引！

【大人】300円→250円 【小中高生】100円→80円



ご利用開始後の有効期限内のドニチエコきっぷ等の
一日乗車券を提示するだけで、名古屋市内の施設・
飲食店等で割引等の特典が受けられます！

※詳細は地下鉄駅で配布している特典ガイドブック
「なごり得ナビ」をご覧ください。

※「ドニチエコきっぷ」「一日乗車券」は、ゆとりーとライン（高架区間）、名鉄バス、あおなみ線、リコモでは利用できません。

（管理～7/4）

沖縄の『こころ』— 追悼 大田昌秀 と 儀間比呂志 展

「ピースあいち」では毎年、6月23日の沖縄慰霊の日をはさんで、「沖縄」をテーマに企画展を開いています。今年も、沖縄戦を体験し、その後沖縄県知事を務めた大田昌秀さんと、沖縄の苦渋と悲しみを版画で表現した沖縄生まれの版画家、儀間比呂志さんの二人を取り上げます。

1925年生まれの大田さんは、沖縄戦の真ただ中、銃弾の中に身を置き、戦後その苛烈な体験をもとに、生涯平和を求め続けました。日本政府だけでなく、アメリカにも足繁く出かけて交渉を続けたことはよく知られています。「基地のない沖縄」が大田さんの悲願でした。

儀間さんは1923年、沖縄・那覇市生まれです。洋画、版画を大阪で学び、戦後たびたび沖縄に戻りました。今回展示するハンセン病の妹とその兄を描いた絵本『ツルとタケシ』など、沖縄戦の様子を版画や絵本で表現しました。また、琉球の民話や風物を題材にした作品も多く残されています。

大田さん、儀間さんは昨年、相次いで亡くなりました。二人の伝えたかった「沖縄のこころ」を、展示を通して考えてみたいと思います。

関連イベント 1階交流のひろば (入館料のみ)

映画上映会と沖縄報告トーク

★ 6月2日(土) 午後1時半～4時

トーク 「新たに要塞化する島の人々の想い」
大月ひろ美さん(元青年劇場女優)

映画上映 「標的の島 風かたか」
三上智恵監督(2017年制作・119分)

※ 事前予約制 ☎052-602-4222

沖縄慰霊の日・講演と朗読のつどい

★ 6月23日(土) 午後1時半～3時

講演 「大田昌秀の見た沖縄戦・儀間比呂志の感じた戦世(いくさゆ)」

阪井芳貴さん(名古屋市立大学大学院教授)

朗読 沖縄「平和の詩」群読
オリーブ(ピースあいち朗読の会)

《夏の特別企画展》ご案内 —詳しくはホームページを—
高校生が描くヒロシマと丸木位里・俊「原爆の凶」
2018年7月24日(火)～9月2日(日) 期間中の休館日・月曜日
入場料/大人600円 小中高生200円 (入館料含む)



(C)『標的の島 風かたか』製作委員会

[博物館相当施設] 戦争と平和の資料館 ピースあいち

- 開館時間 11:00～16:00
 - 休館日 日曜、月曜、年末・年始ほか
 - 入館料 大人300円 小中高生100円
- 〒465-0091 名古屋市名東区よもぎ台 2-820
TEL&FAX 052-602-4222
http://www.peace-aichi.com/



- ▶ 地下鉄東山線「一社」①出口から北へ徒歩12分
- ▶ 地下鉄東山線「上社」から市バス上社11系統「じあみ」下車、西へ徒歩3分
- ▶ 駐車場(有料(300円)2台)(障がい者用無料1台)

